

## 令和3年度における第2期芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価・検証

第2期総合戦略では、地方創生の実現にむけ、4つの政策目標と39の具体的施策を掲げるとともに、各施策を推進しています。

これらの施策に対して、基本目標および重要業績評価指数（KPI）の達成状況を評価しました。

### 1 基本目標の進捗状況

#### 政策目標Ⅰ 芦屋の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる

	基準値	目標値	実績値	評価
観光入込客数	634,274人 (平成30年)	654,000人 (令和6年)	人 (令和3年)	評価：B 芦屋海浜公園施設長寿命化計画に基づく整備・改修を行いました。夏井ヶ浜はまゆう公園の景観形成のため、あじさいを植樹しました。 ※令和3年の観光入込客数については、8月ごろ確定します。
助成事業による 移住・定住者 (累計)	161世帯 (平成30年 度)	340世帯 (令和6年度)	289世帯 (令和3年度)	評価：AA 町内及び近隣の不動産業者に対し、各種支援制度の紹介チラシを送付しました。

政策目標Ⅱ 芦屋ならではのしごとづくりを進める

	基準値	目標値	実績値	評価
空き店舗等活用補助金の新規交付件数(累計)	6件 (平成30年度)	16件 (令和6年度)	10件 (令和3年度)	評価：AA 商工会及び金融機関の本店及び郡内支店に支援事業のチラシを配布し、PRを行いました。
農商工等連携事業数(累計)	10事業 (平成30年度)	20事業 (令和6年度)	10事業 (令和3年度)	評価：B 特産品開発事業として商工会へ補助金を交付し、農商工等連携を推進していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、域外への出店やイベント等への出店が困難な状況となりました。

政策目標Ⅲ 若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる

	基準値	目標値	実績値	評価
合計特殊出生率	1.81 (第1期総合戦略期間中平均)	1.83 (令和4年度)	1.44 (令和元年度)	評価：B 第1期総合戦略期間中平均は1.81となりましたが、令和元年度は1.44でした。
新婚・子育て世帯民間賃貸住宅家賃補助金新規交付件数(累計)	64件 (平成30年度)	140件 (令和6年度)	106件 (令和3年度)	評価：AA 新婚世帯及び子育て世帯へ民間賃貸住宅家賃補助金を交付しています。補助内容が令和3年度から変更になりました。(交付期間：3年間から6年間、限度額：24万円から12万円/年に見直し)

政策目標Ⅳ ずっと住みたい、時代にあった地域をつくる

	基準値	目標値	実績値	評価
芦屋タウンバス 年間利用者数	109,089人 (平成30年度)	120,000人 (令和6年度)	76,115人 (令和3年度)	評価：B 利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少しています。また、利便性向上のため、ベンチ設置を行いました。
北九州市との広 域連携事業数	17件 (平成30年度)	17件 (令和6年度)	19件 (令和3年度)	評価：B 北九州市との連携中枢都市圏構想における連携ビジョンに基づき、共同事業推進と今後の事業化にむけた担当者間での情報交換等を実施しました。

2 具体的施策の進捗状況

39の具体的な施策における、令和3年度における第2期総合戦略のKPI達成状況について以下のとおりに区分し、評価を行いました。

区分	達成状況	令和3年度評価	(参考)令和2年度評価	増減
AA	当初の計画を前倒しで推進している	3施策 (7.7%)	0施策 (0.0%)	7.7%
A	計画どおり推進している	13施策 (33.3%)	13施策 (33.3%)	0%
B	一部を除き当初の計画どおり推進している	23施策 (59.0%)	25施策 (64.1%)	△5.1%
C	全体的に当初の計画から遅れている	0施策 (0.0%)	1施策 (2.6%)	△2.6%

令和3年度における第2期総合戦略の評価として、計39施策の全てが、一定以上計画どおり推進しており、AA・A・B評価となりました。